

# 令和3年度 作物栽培管理情報第2号

令和3年5月発行

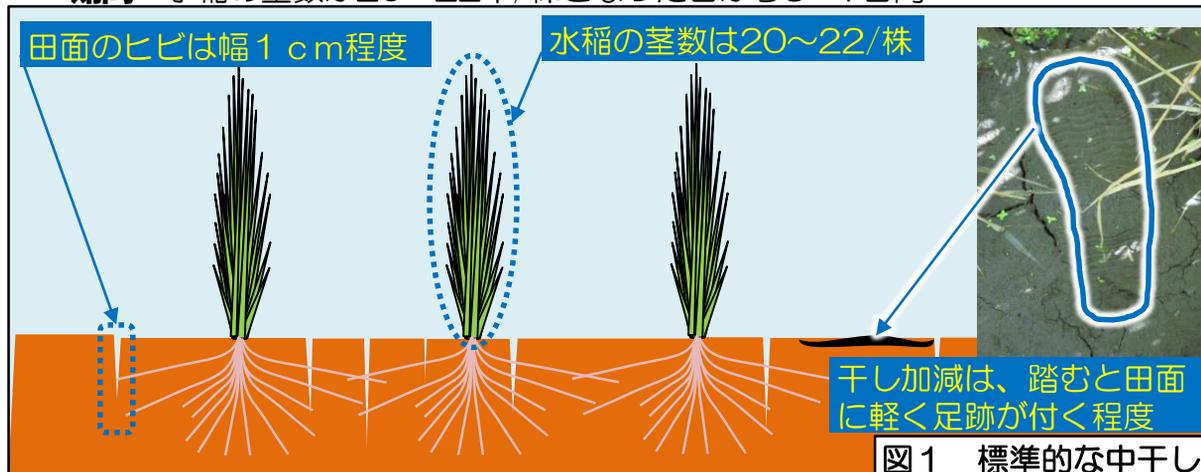
大分県中部振興局 集落営農・水田畑地化班

## 1. 令和3年産水稻 4. 生育期の管理作業（前編）

### 1) 中干し ～根の酸欠と無駄な生育を防ぎ、健全な稲にしましょう！～

- 目的**
- ①外気（酸素）による根の活性化
  - ②水田土壌からの有毒ガス追い出し
  - ③無効分げつ、下位節間の伸びを抑え倒伏を防止

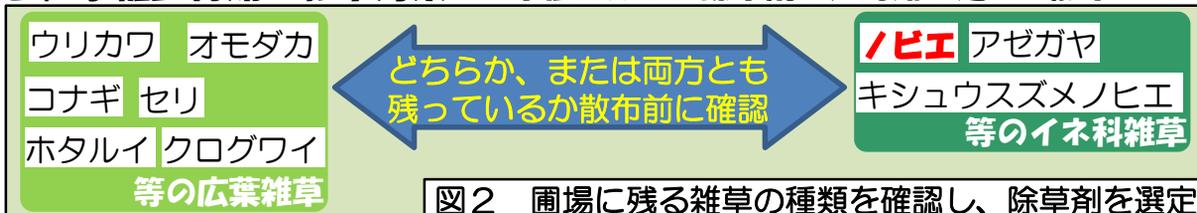
**期間** 水稻の茎数が20～22本/株となった日から5～7日間



#### ポイント

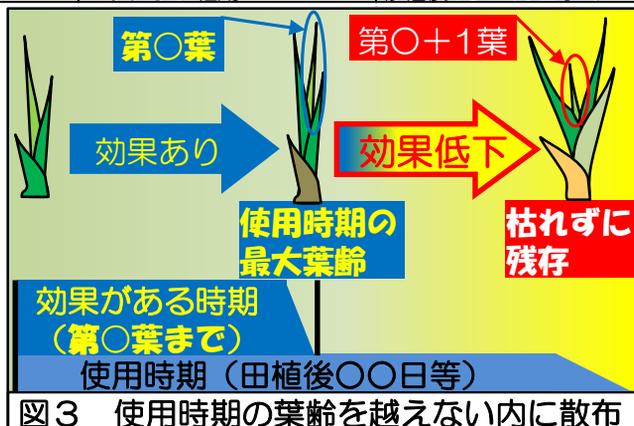
- ・生育の遅い圃場は根を傷めないよう、弱めに干しましょう。
- ・中干し期間が終わった後は、間断灌水に戻しましょう。

### 2) 水稻生育期の雑草対策 ～草種に応じた除草剤を、時期を逃さず散布！～



(参考) 水稻生育期に散布する除草剤

対象雑草	薬剤名	散布時期	散布時の注意		収穫前日数
			使用量/10a	散布水量/10a	
イネ科	クリンチャー1キロ粒剤	移植後25日～ノビエ5葉期まで	1.5kg	—	30日前まで
	クリンチャーEW	移植後20日～ノビエ6葉期まで	100ml	25～100L	30日前まで
イネ科・広葉	クリンチャーパスME	移植後15日～ノビエ5葉期まで	1000ml	70～100L	50日前まで
	フォローアップ1キロ粒剤		1kg	—	60日前まで
	セカンドショットSジャンボMX	移植後14日～ノビエ3.5葉期まで	小包装20個 (500g)	—	45日前まで
	レプラス1キロ粒剤		1kg	—	60日前まで
広葉	レプラスジャンボ	移植後14日～ノビエ4葉期まで	小包装10個 (400g)	—	60日前まで
	バサグラン液剤	移植後15～45日まで	500～700ml	70～100L	50日前まで
	バサグラン粒剤	移植後15～40日まで	3～4kg	—	60日前まで



#### ポイント

- ・粒剤は湛水状態で、液剤は基本的に落水状態で散布します。
- ・雑草の生育に注意し、使用時期の最大葉齢に達する前に散布しましょう。
- ・使用上の注意も忘れず確認しましょう。

裏面へ

### 3) 病害防除 ～基本は予防、発生しやすい条件・毎年発生する圃場に注意！～

#### (1) いもち病(葉いもち) ※多発は穂いもちにつながります！

- ①発生条件(天候) 平年より低温、多湿、雨がち  
(圃場) 施肥量多め、濃い葉色、冷たい用水、霧の湧きやすい場所
- ②防除薬剤 目的・散布時期に応じたものを散布

選び方		薬剤名	散布時の注意		使用上の注意	
目的	散布時期		使用量/10a ・希釈倍率	散布量/10a	使用時期	回数
予防	発生しやすい天候が続いている場合	コラトップ粒剤5	3～4kg	-	初発10日前～初発時	2回以内
		ゴウケツモンスター粒剤	3kg		出穂5日前まで、 但し収穫45日前まで	1回のみ
治療	葉に病斑が出ている場合	ブラシン粉剤DL	3～4kg	-	収穫7日前まで	2回以内
		ブラシンバリダフロアブル	1000倍		60～150L	

#### (2) 紋枯病

- ①発生条件(天候) 平年より高温、多湿  
(圃場) 毎年または昨年発生したことがあり、植付本数の多い圃場
- ②防除薬剤 目的・散布時期に応じたものを散布

選び方		薬剤名	散布時の注意		使用上の注意	
目的	散布時期		使用量/10a ・希釈倍率	散布量/10a	使用時期	回数
予防	出穂30～10日前	モンガリット粒剤	3～4kg	-	収穫45日前まで	2回以内
		ゴウケツモンスター粒剤	3kg		出穂5日前まで、 但し収穫45日前まで	1回のみ
治療	株元に病斑が出た直後	バリダシン粉剤DL	3～4kg	-	収穫14日前まで	5回以内 2回以内
		ブラシンバリダフロアブル	1000倍			

(参考) 希釈倍率・散布量別使用量

希釈倍率	散布量/10a		
	60L	100L	150L
1000倍	60ml	100ml	150ml

#### ポイント

- ・農薬使用上の注意を確認し、目的に応じ適切に散布しましょう。
- ・葉いもちは圃場内の余り苗などから発生し、全体に広がります。圃場内に残したままにせず、速やかに廃棄しましょう。
- ・紋枯病は昨年圃場に落ちた菌が原因です。発生したところのある圃場の防除を徹底し、発生していない圃場に持ち込まないことが重要です。

## 2. 農作業安全対策

### 1) 農作業事故防止 ～起こさず、遭わず、慣れた作業こそ慎重に！～

#### (1) 計画的な作業、緊急連絡手段の確保

- ①作業する場所を、関係者に前もって知らせておくこと
- ②作業中に移動する場合は、狭い・凸凹等足場の悪い作業道は回避
- ③スマートフォン等、連絡手段を忘れずに

#### (2) 作業時の服装、注意する点

- ④体型に合った作業服の着用
- ⑤タオル等は腰等にぶら下げず、必要に応じ取り出して使用
- ⑥ヘルメット、肘当て膝当て等の確実な着用
- ⑦ブレーキペダルの切替えは停止した状態で行うこと
- ⑧横転しないよう、作業または移動中の機械の傾きに注意
- ⑨周りを確認しながら操作
- ⑩高低差のある場所、不安定な地形では補助者同伴で作業

#### (3) 不具合の発生防止、発生時の対応

- ⑪作業前の点検、故障箇所の補修
- ⑫作業中の不具合は、必ずエンジン(モーター)を止めて対応
- ⑬作業後の掃除、破損箇所等の交換

#### ポイント

- ・農作業事故により、全国で毎年300人前後の死者が出ています。
- ・毎年どおりの作業であればこそ、計画的な作業・安全確認・作業前後の点検整備を徹底し、事故防止を図りましょう。

お問い合わせ先：電話097-506-5791

ホームページ：<http://www.pref.oita.jp/soshiki/11604/saibaikanrizeyouhou.html>